

用語集

あ

ISO14001

組織活動が環境に及ぼす影響を最小限に抑えることを目的に定められた環境に関する国際標準規格です。

か

緩速ろ過方式

原水を何層もの砂利・砂層に遅い速度(3～6m/日)でろ過し、砂層表面と砂層に増殖した微生物群によって水中の浮遊物質や溶解物質を除去し処理する方法です。急速ろ過方式に比べ広大な用地を必要とし急激な原水の水質変化に対応できないため、急速ろ過方式が一般的になっています。

給水収益

水道事業会計における営業収益の1つで、主に水道料金収入のことです。

給水人口

給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口のことです。

急速ろ過方式

最も代表的な浄水方法で、原水に凝集剤を注入し、大きな懸濁物質を除去したのち、砂やアンサイトからなるろ過層に200～300m/日の早い速度でろ過し、微細な浮遊物を除去する方法です。

業務指標 (PI: Performance Indicator)

社団法人日本水道協会発行の「水道事業ガイドライン (JWWA Q100) において、水道事業サービスの種々の側面を適正かつ公正に、水道事業全般において多面的に定量化するために定められた指標です。「安心」・「安定」・「持続」・「環境」・「管理」・「国際」に分類されていて137項目の指標があります。

緊急遮断弁

地震や管路の破損などの異常時に自動的に遮断弁が閉まり、水道水を貯水し、飲料水を確保する弁(バルブ)のことで、配水池に設置しています。

さ

残留塩素

安全確保のために塩素が水道水に残留したもので、一般的には遊離残留塩素を総称します。法令によって蛇口から出る水道水には一定の残留塩素があるように定められています。

水質検査

水道水を水道法に基づく水質基準項目の基準値や塩素消毒の基準に適合しているかどうかを判定するための検査です。水質基準項目は、平成23年度現在において50項目であり、健康に関連する項目と水道水が有すべき性状に関連する項目からなり、これらは水道水にとって必須の項目です。

水質検査計画

水道水が水質基準に適合し、安全で良質な水を供給するために、水道法に基づき毎年度水道事業体が水質検査に関する基本方針、水質検査地点及び水質検査方法を定めるもので、その内容や水質検査結果をホームページなどで公開しています。

た

耐震性緊急貯水槽

普段は水道管の一部として水を流していますが、地震や管路の破損等の異常時に自動的に遮断弁が閉まり、水道水を貯水し、飲料水を確保します。本市では現在、避難所に指定されている市内5か所の小中学校のグラウンドに設置しています。

第4次和泉市総合計画

本市では、平成18年12月に今後の10年のまちづくりの指針となる、第4次和泉市総合計画を策定しました。また、平成22年12月に、後期基本計画を策定しました。この総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画の3部門で構成しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。

貯水槽水道

ビル・マンション等の建物で、供給された水道を水槽(貯水槽・高置水槽)に受けた後、利用者に給水する施設。貯水槽以降の管理は、その設置者(建物の管理者)が行うことになっています。

直結給水

貯水槽水道の衛生上の問題等を解決するため、貯水槽を介さずに直接に給水する方法です。

は

配水池

浄水場でつくられた水道水を、一時保管するところです。家庭等に送る水量を調節したり、災害時に飲料水を確保します。

パブリックコメント

行政の政策立案過程で国民（住民）の意見を募る制度（意見公募手続）。2005年6月の行政手続法の改正により新設されました。行政機関が実施しようとする施策について、あらかじめ国民（住民）から意見を募り、それを意思決定に反映させることを目的としています。行政機関が命令や規則を策定または変更する場合、ホームページなどを通じて素案を公表し、国民（住民）から電子メールや郵便などの方法で意見を募ります。

PDCAサイクル

品質改善や業務改善活動などで広く活用されているマネジメント手法のひとつであり「計画(plan)」「実行(Do)」「評価(Check)」「改善(Action)」のプロセスを順に実施していくものです。

- 計画 (Plan) ……目標を設定し、実現プロセスを設計する。
- 実行 (Do) ……計画を実施し、パフォーマンスを測定する。
- 評価 (Check) ……結果を評価し、目標と比較するなど分析する。
- 改善 (Action) ……プロセスの改善や規定類の見直しを行う。

最後のActionまでたどり着いたら、再度Planのプロセスに戻り、らせん状に改善を続けていくので、「PDCAサイクル」といわれています。

や

有効率

浄水場から送られた水が途中で漏水することなく、どれだけ有効に利用できたかを示す指標です。

有効水量÷総配水量で算出されます。

有収水量

料金徴収等の対象となった水量を示します。



●山月工房の大阪府知事指定伝統工芸品『和泉蜻蛉玉』

この冊子は企画から印刷までを外注して作成しております。
(300部作成 一部あたりの費用 2,709円)

和泉市水道ビジョン

発行日	平成24年3月
発行	和泉市上下水道部 〒594-8501 和泉市府中町二丁目7番5号 TEL. 0725-41-1551 (代表) FAX. 0725-40-3566
制作	株式会社 水道産業新聞社 〒530-0027 大阪市北区堂山町1番5号 TEL. 06-6312-3871 FAX. 06-6312-3874